

事務事業名	土木事務事業			事業コード	08010120101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	北出 泰章		
事業対象	坂井市民 福井県民						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・河川・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。						
	県道路協会負担金、県港湾協会負担金、新九頭竜橋建設促進期成同盟会負担金などの国及び県との事業連携を図るために必要な負担金等の予算を計上する。						
事業の目的・事業の概要等	○旅費	149千円					
	・ 総会等旅費 他						
	○燃料費	1千円					
	・ 混合油						
	○食糧費	9千円					
・ 会議用膳							
○使用料及び賃借料	269千円						
・ 大型コピーリース料 他							
○負担金	1,010千円						
・ 県道路協会負担金 他							

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	現状の体制により事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	各種総会経費の削減に努めてきています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	年々、少しずつではありますが負担金の削減がなされてきています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費					
コスト	事業費		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	千円	千円	千円	千円				
			需用費	9千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	1,429千円	1,088千円	千円	千円				
			事業費合計	1,438千円	1,088千円	千円	千円				
	人件費		正職員	1.00人	7,109千円	1.78人	12,510千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.00人	7,109千円	1.78人	12,510千円	人	千円	人	千円
	総事業費		8,547千円	13,598千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源			8,547千円	13,598千円	千円	千円					
財源合計			8,547千円	13,598千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最少の人員で質の高い事業に取り組みます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	市内交通事故死者数	人	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率	
		実績値 4	3	---	7	2	
成果	丸岡インター連絡道路改良率	%	目標値 10 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率	
		実績値 0	0	---	0	0	
活動	日本港湾協会 総会参加	回	目標値 1 達成率	1 達成率	1 達成率	1 達成率	
		実績値 1	100	1	100	1	100
活動	福井県道路協会総会参加	回	目標値 1 達成率	1 達成率	1 達成率	1 達成率	
		実績値 1	100	1	100	1	100
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	県営事業負担金			事業コード	08010120106		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	北出 泰章		
事業対象	市民 県民 道路利用者						
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市内県道の改良工事を促進させることにより、良好な道路ネットワークを整備し、市民の利便性の向上および産業の活性化を図ります。						
	福井県が実施する県道改良事業等にかかる事業費の一部を負担する。						

すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり、事務の負担が少ないことから改善の余地はありません。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	年に2回の事務処理であり、事務の負担が少ないことから改善の余地はありません。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	42,511 千円	39,495 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	42,511 千円	39,495 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.12 人	853 千円	0.12 人	843 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.12 人	853 千円	0.12 人	843 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		43,364 千円	40,338 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		34,700 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		750 千円	2,250 千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		7,914 千円	38,088 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		43,364 千円	40,338 千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県におけるルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県におけるルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県におけるルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	年に2回の事務処理であり、事務の負担は多くありません。			
すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから、改善の余地はありません。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから、改善の余地はありません。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動	県事業についての協議回数	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	100	4	100
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	道の駅管理運営事業			事業コード	08010120111
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	山崎 賀央
事業対象	道の駅利用者				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	道の駅の清掃及び設備管理に関する業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくにと道の駅さかいを管理運営する。				
	市内2箇所の道の駅の管理業務（道の駅みくに、道の駅さかい）を行う。 ○消耗品費 379千円 ・ トイレ、施設管理用消耗品費 ○光熱水費 2,261千円 ・ 電気料、上下水道料 ○修繕料 12千円 ・ 施設等修繕料 ○通信運搬費 89千円 ・ 電話料 ○委託料 4,993千円 ・ 道の駅維持管理委託料 他 ○使用料及び賃借料 204千円 ・ ケーブルテレビ利用料 他 ○負担金 60千円 ・ 近畿「道の駅」連絡協議会負担金				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信の場として喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	施設の老朽化が進む中、限られた予算の中で利用者には不快感を与えないよう維持管理することができました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理に努めていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	適正な管理により実行してきております。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費					
コスト	事業費		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			報酬	千円		千円		千円		千円	
			委託費	4,994千円		4,994千円		千円		千円	
			需用費	2,892千円		3,096千円		千円		千円	
			役務費	105千円		101千円		千円		千円	
			その他	278千円		277千円		千円		千円	
			事業費合計	8,269千円		8,468千円		千円		千円	
	人件費		正職員	0.33人	2,346千円	0.38人	2,671千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.33人	2,346千円	0.38人	2,671千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	10,615千円		11,139千円		千円		千円	
			国県支出金	千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金	千円		千円		千円		千円	
			地方債	千円		千円		千円		千円	
その他			444千円		439千円		千円		千円		
一般財源			10,171千円		10,700千円		千円		千円		
財源合計	10,615千円		11,139千円		千円		千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道の駅の全国的な人気と、道の駅が地域活性及び安全運転に寄与する比重が高いことから事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路管理者と維持管理契約を結んでいることから、実施主体は市が妥当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成26年度にて道路管理者により施設改修を行ったことから、修繕等が少ないため現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最少人員で管理を行っていきます。			
すぐに行える改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

成果	道の駅みくに利用者数	万人	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
			目標値	30	達成率	30	達成率	23	達成率
	実績値	31	103.33	29	96.67	30	130.43	21.9	99.55
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値								
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値								
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値								
	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	実績値								

【事業の成果】

事務事業名	道路橋りょう総務事業			事業コード	08020105101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	北出 泰章		
事業対象	坂井市民 道路通行者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。						
	市道の用地取得費等の償還、市道借地借上料の支払及び道路台帳の管理を行う。 ○委託料 3,920千円 ・道路台帳更新・修正業務委託料 他 ○使用料及び賃借料 8,553千円 ・市道敷地借上料						

すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路台帳更新により適正管理に努めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路台帳更新を適正にすすめます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	3,996	6,468						
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	8,554	8,567	千円	千円				
		事業費合計	12,550	15,035	千円	千円				
	人件費	正職員	0.00 人	千円	0.75 人	5,271 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00 人	千円	0.75 人	5,271 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	12,550	20,306	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		12,550	20,306	千円	千円	千円				
財源合計	12,550	20,306	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				

成果	市道延長	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	795.3	達成率	794.3	達成率	793.5	達成率	792.8	達成率
活動	道路台帳修正業務		千円	目標値	795.3	100	794.3	100	793.5	100	792.8	99.46
				実績値	3456	---	3995	---	3307	---	4126	---
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値								

【事業の成果】



事務事業名	道路橋りょう維持事業			事業コード	08020200101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	竹内孝治
事業対象	坂井市民・道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	身近な生活道路の整備		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	道路の環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。				
	事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消耗品費 128千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道管理用消耗品費</li> </ul> </li> <li>○光熱水費 2,849千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・照明灯・ポンプ等の電気料等</li> </ul> </li> <li>○修繕料 16,987千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道修繕料</li> </ul> </li> <li>○通信運搬費 31千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・跨道橋テレメータ一回線使用料</li> </ul> </li> <li>○委託料 27,041千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木管理委託料 9,667千円</li> <li>・除草委託料 1,318千円</li> <li>・調査委託料 6,081千円</li> <li>・踏切保安装置維持管理業務委託料 2,624千円</li> <li>・道路施設維持管理委託料 5,894千円</li> </ul> </li> <li>○原材料費 1,639千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路舗装補修材、側溝蓋等</li> </ul> </li> <li>○委託料 11,940千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検業務委託料</li> </ul> </li> </ul>			

すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	道路管理強化のため、道路パトロールから修繕、更にその後の状況確認を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	現状の体制の中で、道路パトロール及び通行者からの連絡に迅速対応していきます。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	31,360千円	46,827千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	19,964千円	17,083千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	31千円	31千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,660千円	1,639千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	53,015千円	65,580千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.20人	8,531千円	1.30人	9,136千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.10人	205千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	1.30人	8,736千円	1.30人	9,136千円	人	千円	人	千円	
事業費	総事業費	61,751千円	74,716千円	千円	千円	千円	千円			
	国県支出金	6,380千円	14,030千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	8,965千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	55,371千円	51,721千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	61,751千円	74,716千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	安全な道路環境を保持していくことは、道路管理者である市の責務であります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	適正管理を継続するため、市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算より、適正管理に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補修の必要な箇所は増えている状況であるが、職員削減の大きな方向性の中において現状の人員で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	街路樹に関する苦情件数	件	目標値	0	達成率	0	達成率		
			実績値	2	---	2	---	3	---
成果	一般車両タイヤバンク件数	件	目標値	0	達成率	達成率	達成率		
			実績値	0	---	2	---	2	---
活動	修繕件数	件	目標値	180	達成率	180	達成率		
			実績値	206	114.44	174	96.67	195	108.33
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
			実績値						
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
			実績値						
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
			実績値						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	除雪対策事業			事業コード	08020205101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	大森 史朗
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	機械による道路除雪および歩道除雪業務、消融雪施設の点検業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	道路除雪基本計画書、道路除雪実施計画書			
【事業の概要】	冬期間の積雪時における主要道路及び生活路線の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施します。				
	市が保有する除雪機械および民間保有の機械を使用し、道路および歩道の除雪を実施します。また、消雪パイプ等の消融雪施設も利用して冬期間の道路交通の確保に努めています。				
【事業の目的・事業の概要等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消耗品費 1,839千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・融雪剤、バッテリー等</li> </ul> </li> <li>○光熱水費 6,531千円(4月～2月分電気料) <ul style="list-style-type: none"> <li>・融雪装置運転に要する電気料、水道料</li> </ul> </li> <li>○修繕料 8,307千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪機械および消融雪施設の修繕料</li> </ul> </li> <li>○役務費 2,255千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪車の車検、特定自主検査手数料 他</li> </ul> </li> <li>○委託料 68,774千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪業務委託料（機械管理費＋作業委託料＋待機補償費） 60,746千円</li> <li>・融雪装置点検業務委託料他 8,028千円</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 26,403千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪機械借上料 他</li> </ul> </li> <li>○工事請負費 18,585千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・融雪装置点検清掃工事費</li> </ul> </li> <li>○補助金 4,500千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路除排雪機械整備費補助等</li> </ul> </li> <li>○その他 1,882千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務手当、公課費等</li> </ul> </li> </ul>				

【前年度改善案に対する取組状況】	<table border="1"> <tr> <td>すぐに行える改善提案</td> <td>現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。</td> </tr> <tr> <td>目標年度 未設定 年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取組状況</td> <td>受託業者が減少する中、対応可能な業者に依頼することで業者数の確保を行い、適正除雪に努めました。</td> </tr> <tr> <td>中長期的に取り組むべき改善提案</td> <td>市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。</td> </tr> <tr> <td>目標年度 未設定 年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取組状況</td> <td></td> </tr> </table>	すぐに行える改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。	目標年度 未設定 年度		取組状況	受託業者が減少する中、対応可能な業者に依頼することで業者数の確保を行い、適正除雪に努めました。	中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。	目標年度 未設定 年度		取組状況	
すぐに行える改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。												
目標年度 未設定 年度													
取組状況	受託業者が減少する中、対応可能な業者に依頼することで業者数の確保を行い、適正除雪に努めました。												
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。												
目標年度 未設定 年度													
取組状況													

【担当者評価】	<table border="1"> <tr> <td>【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？</td> <td>A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）</td> <td>A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？</td> <td>A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？</td> <td>A. できない B. 検討の余地あり C. できる</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？</td> <td>A. できない B. 検討の余地あり C. できる</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？</td> <td>A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）</td> <td>A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？</td> <td>A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？</td> <td>A. できない B. 検討の余地あり C. できる</td> <td>A</td> </tr> </table>	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A																									
【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A																										
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A																										
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A																										
【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A																										
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A																										
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B																										
【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A																										
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A																										

【事業のコスト】	予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費			
コスト	事業費	報酬	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	70,610	89,315					
			需用費	17,175	20,660					
			役務費	2,282	2,238					
			その他	51,088	42,304					
	事業費合計	141,155	154,517							
	人件費	正職員	1.20 人	8,531 千円	1.82 人	12,791 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.20 人	8,531 千円	1.82 人	12,791 千円	人	千円	人	千円
総事業費		149,686 千円		167,308 千円		千円		千円		
事業費	特定財源	国県支出金	6,600	21,600						
		使用料・手数料	千円	千円						
		分担金・負担金	千円	千円						
		地方債	千円	千円						
		その他	80	83						
		一般財源	143,006	145,625						
財源合計		149,686 千円		167,308 千円		千円		千円		

【所屬長評価】	<table border="1"> <tr> <td>事業の方向性</td> <td>このまま継続します。</td> <td>目標年度</td> <td>--</td> <td>年度を目安</td> </tr> <tr> <td>判断事由</td> <td colspan="4">冬期の道路環境向上を図るため重要な事業と考えています。受託業者の確保を図り、冬場の除雪に対応していきます。</td> </tr> <tr> <td>実施主体の方向性</td> <td>現状どおり実施します。</td> <td>目標年度</td> <td>--</td> <td>年度を目安</td> </tr> <tr> <td>判断事由</td> <td colspan="4">道路管理者である市が実施します。</td> </tr> <tr> <td>コスト投入の方向性</td> <td>現状を維持します。</td> <td>目標年度</td> <td>--</td> <td>年度を目安</td> </tr> <tr> <td>判断事由</td> <td colspan="4">厳しい財政状況のなか、最低限、現状のコストを保持していきます。</td> </tr> <tr> <td>人員投入の方向性</td> <td>現状を維持します。</td> <td>目標年度</td> <td>--</td> <td>年度を目安</td> </tr> <tr> <td>判断事由</td> <td colspan="4">現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。</td> </tr> <tr> <td>すぐに行える改善提案</td> <td colspan="4">現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。</td> </tr> <tr> <td>目標年度</td> <td>--</td> <td>年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中長期的に取り組むべき改善提案</td> <td colspan="4">現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。</td> </tr> <tr> <td>目標年度</td> <td>--</td> <td>年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安	判断事由	冬期の道路環境向上を図るため重要な事業と考えています。受託業者の確保を図り、冬場の除雪に対応していきます。				実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安	判断事由	道路管理者である市が実施します。				コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安	判断事由	厳しい財政状況のなか、最低限、現状のコストを保持していきます。				人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安	判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。				すぐに行える改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。				目標年度	--	年度			中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。				目標年度	--	年度		
事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安																																																									
判断事由	冬期の道路環境向上を図るため重要な事業と考えています。受託業者の確保を図り、冬場の除雪に対応していきます。																																																												
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安																																																									
判断事由	道路管理者である市が実施します。																																																												
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安																																																									
判断事由	厳しい財政状況のなか、最低限、現状のコストを保持していきます。																																																												
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安																																																									
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。																																																												
すぐに行える改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。																																																												
目標年度	--	年度																																																											
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。																																																												
目標年度	--	年度																																																											

【事業の成果】	成果	市道の交通障害発生件数	件	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
				目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
	活動	除雪機械稼働時間	時間	目標値		達成率		達成率		達成率		
				実績値	2475	---	3525	---	133	---	1624	---
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

事務事業名	五本跨線橋長寿命化事業			事業コード	08020210101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	山崎 賀央
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井市内の中央を横断する市道坂井中央線に架かる五本跨線橋は、地域住民の生活道路として利用されており、また、主要地方道芦原丸岡線と主要地方道福井金津線を繋ぐ道路として防災面においても重要な位置づけもあり、予防保全的な補修対応を実施することで、道路交通の安全・安心、防災面における道路網の確保を図るものである。

◆五本跨線橋長寿命化事業  
 ・全体延長 L=220m  
 ・W=7.5m（車道3.0m×2、歩道0.75m×2）  
 ・全体事業費 160,000千円  
 ・事業年度 H26～H29

【H27年度事業内容】  
 ・伸縮装置取替え工事  
 ・橋面防水工事  
 ・クラック補修工事  
 ○工事請負費 28,760千円  
 ・工事請負費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	5,670	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	28,760	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	34,430	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.43	人	3,057	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.43	人	3,057	千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	37,487	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	国県支出金	18,920	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		地方債	14,700	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		3,867	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	37,487	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

成果	事業費	指標名	単位	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
事業費	百万円	目標値	33	達成率	47	達成率	0	達成率	0	達成率	
		実績値	28	84.85	47	100	0	---	0	---	
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									

すぐにできる改善提案	H27の工事の反省から、H28以降工事の課題を抽出し工事に反映させます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	地元、警察及び関係機関と連絡調整し、通行制限への影響を少なくする取組を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	事業終了後も定期に点検を行い、長寿命化を図ります。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	国の指針に基づく点検により、適正管理に努めます。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市の東西を結ぶ幹線道路の跨線橋の長寿命化は、重要度が高いため事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道の跨線橋修繕工事のため、道路管理者が実施することが妥当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し、事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最少の人員で質の高い事業に取り組みます			
すぐにできる改善提案	設計精査により、安全な整備を目指します。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		

【事業の成果】



事務事業名	道路改良事業			事業コード	08020300101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	竹内孝治		
事業対象	坂井市民・道路利用者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工		
根拠法令	有	道路法 道路構造令					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。						
	道路改良工事、道路舗装工事の実施及び道路拡幅工事に伴う土地分筆業務を行う。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消耗品費 614千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用消耗品費、工事発注用書籍、資料購入費等</li> </ul> </li> <li>○委託料 1,952千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積算システム保守委託 496千円</li> <li>・分筆登記、測量設計業務等委託料 2,996千円</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 653千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事積算システム使用料</li> </ul> </li> <li>○工事請負費 229,713千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市単独道路改良工事費</li> </ul> </li> <li>○公有財産購入費 1,586千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地購入費</li> </ul> </li> <li>○補償金 421千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事に伴う電柱移転等補償費</li> </ul> </li> </ul>						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	3,492	千円	2,050	千円	千円	千円	千円	
		需用費	615	千円	625	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	232,374	千円	201,525	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	236,481	千円	204,200	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	2.70	人	19,194	千円	2.70	人	18,976	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	2.70	人	19,194	千円	2.70	人	18,976	千円
	総事業費		255,675	千円	223,176	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			26	千円	千円	千円	千円			
一般財源		255,649	千円	223,176	千円	千円	千円			
財源合計	255,675	千円	223,176	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	市道での交通事故発生件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率
		実績値	3	---	未集計	---	未集計	---
活動	用地買収事務	目標値	2	達成率	1	達成率	0	達成率
		実績値	2	100	1	100	0	100
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	限られた予算配分の中で、費用対効果の高い工法選定を行っています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	未改良区間の道路側溝等の工事を実施することは、安全、円滑な交通環境確保のために必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路管理者である市において、利用しやすい道路環境の整備を進めています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	財政状況の厳しい中、現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				



事務事業名	区環境整備補助事業			事業コード	08020305101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	北出 泰章		
事業対象	市内の自治会						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	区環境整備事業費補助金交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。						
	同一会計年度内に1回（補助金の限度額200万円）補助する。 ○補助金 9,239千円 ・区環境整備事業費補助金						

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	限られた予算の中で、市民の身近な道路・水路の環境整備に努力していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	補助金待機の状況がないよう配慮しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地元と調整を行い、安全な道路環境整備を行っています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	9,357千円	13,594千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	9,357千円	13,594千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.32人	2,275千円	0.45人	3,163千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.32人	2,275千円	0.45人	3,163千円	人	千円	人	千円
総事業費		11,632千円	16,757千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	11,632千円	16,757千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	11,632千円	16,757千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	身近な生活環境の向上に対する市民のニーズは高く、今後も市の支援が必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助金の適正執行確保が必要なことから、市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助率50%については、市民の負担と市の財政状況を鑑み妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員の中で、事務改善及び省力化に努めます。			
すぐに行える改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	行政区の取り組みを支援するとともに、補助金の適正執行を確認してまいります。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	補助金申請待機件数	件	目標値	0	0	0	0	
			実績値	0	0	0	0	
活動	補助金支出件数	件	目標値					
			実績値	23	17	12	14	
活動	補助金支出実績	千円	目標値	10000	9000	7000		
			実績値	9239	92.39	13594	151.04	11173
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【事業の成果】

事務事業名	末政・随応寺線道路改良事業		事業コード	08020310101	
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田中 栄治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	工事施工
根拠法令	有 道路法・道路構造令				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

丸岡町市街地から春江町市街地を結ぶ幹線道路である末政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどによる渋滞が発生しているため、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童生徒の安全確保を図る。

◆末政・随応寺線道路改良事業

- ・全体延長 L=2,150m
- ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）
- ・全体事業費 2,050,000千円
- ・事業年度 H11～H30

【H27年度事業内容】

- ・北横地地係の宅地買収(4.55㎡)、工作物補償（電柱等）
- ・北横地、高柳地係の道路改良工事一部着手「北横地交差点の改良」

○工事請負費 62,561千円

- ・道路改良工事費 176千円

○公有財産購入費 284千円

- ・土地購入費
- ・補償金
- ・工作物移転補償費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費						
コスト	事業費		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	10,811千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	63,022千円	119,678千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	63,022千円	130,489千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			人件費									
			正職員	0.32人	2,275千円	0.53人	3,725千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
	人件費合計	0.32人	2,275千円	0.53人	3,725千円	人	千円	人	千円			
	総事業費		65,297千円		134,214千円		千円		千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	43,965千円	84,005千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			17,600千円	39,279千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			1,243千円	1,005千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			2,489千円	9,925千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		65,297千円		134,214千円		千円		千円	千円			

成果	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
事業進捗率		%	目標値	58	53	46	44
			実績値	58	100	46	100
市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合		%	目標値	-	---	---	---
			実績値	-	---	---	---
活動	事業費	百万円	目標値				
			実績値	63	139	114	61
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡町市街地と春江町市街地を結ぶ幹線道路の整備は、道路ネットワークの形成に重要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県等との交差点協議、又は地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	福島江留上線道路改良事業			事業コード	08020310103
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田村 誠
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井市立春江小学校の指定通学路であり幹線道路である福島江留上線は、宅地開発が進み人口集中地区に発展し、大型商業施設も隣接していることから自動車交通量が增大しているため、歩道設置を行うことにより通学する児童生徒の安全確保を図る。

◆市道福島江留上線道路改良事業

- ・全体延長 L=400m
- ・W=10.5m（車道3.0m×2、歩道2.5m×1）
- ・全体事業費 100,000千円
- ・事業年度 H22～H27

【H27年度事業内容】

- ・一部の用地買収、建物補償、工作物補償
- ・道路改良工事着手完了

○工事請負費 18,019千円

- ・道路改良工事費

○公有財産購入費 9,043千円

- ・土地購入費

○賠償金 6,158千円

- ・建物補償費、移転補償費

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地元及び関係機関と連絡調整することで、工事中に事故を生じさせず、年内に事業完成できました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	計画どおり事業が完了し、安全で快適な道路環境整備ができました。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	B. 少し薄れている	C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）			
	A. 妥当である	B. あまり妥当でない	C. 妥当でない	A
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない	B. 多少偏っている	C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？			
	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	A
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である	B. あまり順調でない	C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？			
	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	A
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	B

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	4,653千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	33,219千円	41,595千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	33,219千円	46,248千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.37人	2,630千円	0.57人	4,006千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.37人	2,630千円	0.57人	4,006千円	人	千円	人	千円	
総事業費		35,849千円	50,254千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	17,050千円	23,650千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	13,400千円	21,400千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
		一般財源	5,399千円	5,204千円	千円	千円				
財源合計	35,849千円	50,254千円	千円	千円						

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	計画通り、事業完了しました。			
すぐに行ける改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	計画通り、事業完了しました。			
目標年度	—	年度		

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	事業費	目標値	33	達成率 47	0	達成率 0
		実績値	33	100	47	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	宮領北部線道路改良事業			事業コード	08020310105
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	西畑 政伸
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計業務、工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	坂井町中心部から丸岡北部地域及び国道8号への幹線道路となる宮領北部線を整備することにより、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。				
	<p>◆宮領北部線道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体延長=1,143m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）</li> <li>・全体事業費502,000千円 ・事業年度H23～H32</li> <li>・認可延長L=494m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）</li> <li>・認可事業費227,700千円 ・事業年度H23～H27</li> </ul> <p>【H27年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮領地係の交差点と玄女地係の一部改良を完了</li> </ul> <p>○工事請負費 90,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事費</li> </ul>				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	隣接地権者や請負業者との協議を密にし、工事監督業務の合理化に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	協議の際は、5W1Hを常に明確にし思い込みによる手戻りを防ぐ。		
中長期的に取り組むべき改善提案	引き続き工事監督業務の合理化に努めます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	引き続き手戻りを防ぐ。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	90,491千円	46,164千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	90,491千円	46,164千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	0.52人 3,697千円	0.47人 3,303千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.52人 3,697千円	0.47人 3,303千円	人	千円	人	千円	
	事業費	特定財源	総事業費	94,188千円	49,467千円	千円	千円	千円	千円	
			国県支出金	49,555千円	25,300千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	38,800千円	19,800千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			5,833千円	4,367千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	94,188千円	49,467千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	早期開通に向け、引き続き事業進捗に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県等との交差点協議、又は地元協議を併うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続きコスト省力化に努め、事業進捗に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	早期開通に向け、引き続き業務省力化に努め事業進捗に努めます。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果 事業進捗率	%	目標値	18	達成率 11	達成率 21.3	達成率 7.3		
		実績値	18	100	11	100	21.3	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値	60	達成率 60	達成率 58.3	達成率 56.5		
		実績値	60	100	60	100	58.3	100
活動 事業費	百万円	目標値	90	達成率 70	達成率 50	達成率 31.4		
		実績値	90	100	46	65.71	31.3	62.6
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						



事務事業名	上安田3号線道路改良事業			事業コード	08020310110
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田中 栄治
事業対象	坂井市民、道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計調査、工事施工
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

上安田3号線は丸岡南中学校の通学路、また、磯部東幼保園の送迎道路であるため、自転車歩行者道整備を行うことにより、通学生徒及び園児の安全確保を図る。

◆上安田3号線道路改良事業  
 ・全体延長 L=970m ・W=10.25m（車道3.25m×2、歩道3.5m×1）  
 ・全体事業費 400,000千円 事業年度 H26～H30

【H27年度事業内容】  
 ・詳細設計業務を実施

○委託料 6,048千円  
 ・詳細設計業務委託料

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行える改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら事業を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら事業を進めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	6,048	5,054							
		需用費	千円	千円	千円	千円					
		役務費	千円	千円	千円	千円					
		その他	千円	千円	千円	千円					
		事業費合計	6,048	5,054	千円	千円					
		人件費	正職員	0.22人	1,564千円	0.27人	1,898千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.22人	1,564千円	0.27人	1,898千円	人	千円	人	千円
	総事業費		7,612千円	6,952千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	3,300千円	2,750千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債			2,600千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		1,712千円	4,202千円	千円	千円						
財源合計		7,612千円	6,952千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡南中学校の通学路であり、かつ、磯部東幼保園の送迎道路の整備は、道路の安全確保に重要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	警察、県等との交差点協議、又は地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行える改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果 事業進捗率	%	目標値	3	1	5	達成率
		実績値	3	100	0	0
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
活動 事業費	百万円	目標値	6	5	0	達成率
		実績値	6	100	0	0
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

【所属長評価】

【担当者評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	沖布目森田線道路改良事業			事業コード	08020310111
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田村 誠
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計調査、工事施工
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	J R北陸本線東側の地域振興を図るため都市計画決定された沖布目森田線は、平成22年度までに市道随応寺末政線から県道板倉高江線までの整備が完了しており、森田北東部土地区画整理事業による都市計画道路に連絡することで、川西国道線まで繋がる事から、福井市へのアクセスが円滑になり、災害時においては物資輸送等を担う重要な道路である。				
	<p>◆市道沖布目森田線道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体延長L=800m</li> <li>W=14.0（車道3.5m×2、歩道3.5×2）</li> <li>全体事業費 800,000千円</li> <li>事業年度 H27～H36</li> </ul> <p>【H27年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平面測量・地質調査・予備、詳細設計</li> </ul> <p>○委託料 15,336千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>測量調査設計委託料</li> </ul>				

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	15,336	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	15,336	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.32	人	2,275	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.32	人	2,275	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	17,611	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源	国県支出金	7,865	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	6,100		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	3,646		千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	17,611	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

成果	事業費	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
事業費			百万	目標値	41	達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値	16	39.02						
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら事業を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら事業を進めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	春江町東部地区から福井市森田北東部に連絡する重要な路線であるため、事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県等との交差点協議、地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し、事業の促進を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	事業費		百万	目標値	41	達成率		達成率		達成率		達成率	
				実績値	16	39.02							
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
					実績値								
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
					実績値								
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
					実績値								
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
					実績値								
					目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
					実績値								

事務事業名	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業			事業コード	08020315101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	篤田 耕栄
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	坂井市三国町の人口集中地区の避難道路を整備するものである。当該地区は九頭竜川を挟んで対岸に石油配分基地及び国家石油貯蔵基地等がある場所に位置しており、石油貯蔵備蓄基地等での大規模災害が発生した場合、市防災計画にて指定されている避難所3か所への重要避難道路となる。しかし、当該避難道路の歩道及び車道部は段差箇所が多く、円滑に避難する事が困難である事から本事業により、災害時における避難路の安全確保を目指すものである。				
	<p>◆市道三国60号線道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体延長 L=960m</li> <li>・W=6.0m(車道3.0m×2、路肩0.5m×2、歩道2.5m×2)</li> <li>・全体事業費 134,257千円</li> <li>・事業年度 H26～H30</li> </ul>				

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	6,372千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	40,743千円	35,092千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	40,743千円	41,464千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.52人	3,697千円	0.52人	3,655千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52人	3,697千円	0.52人	3,655千円	人	千円	人	千円
総事業費			44,440千円		45,119千円		千円		千円	
事業費	特定財源	国県支出金	千円	33,832千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源		44,440千円		11,287千円		千円		千円	
財源合計		44,440千円		45,119千円		千円		千円		

指標名		単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
成果	防災道路の整備箇所	箇所	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	100	100	100	100	100	100	100	100
活動	事業費	百万円	目標値	40	達成率	34	達成率	22	達成率	134	達成率
			実績値	40	100	34	100	22	100	134	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域住民の避難路整備と防災空間の確保、災害対策の充実を図ることは必要不可欠と考えられます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	警察との交差点協議、又は地元協議を伴うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	交通安全施設整備事業			事業コード	08020400101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	竹内孝治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	交通安全に資する工事
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図ります。				
	交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と、道路照明灯・防犯灯の維持管理を行います。				
	○光熱水費 19,496千円 ・道路照明灯、防犯灯の電気料 ○修繕料 8,998千円 ・照明灯、交通安全施設修繕料 ○委託料 1,213千円 ・道路照明灯維持管理委託料 ○工事請負費 7,820千円 ・照明灯、交通安全施設整備工事費				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	道路バトロールの実施により、早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	早期修繕を図り、維持管理費の削減に努めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路バトロール及び定期点検により、道路環境の整備に努めます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	交通安全施設費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,213	千円	1,274	千円	千円	千円		
		需用費	28,494	千円	28,129	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	7,820	千円	12,999	千円	千円	千円		
	事業費合計	37,527	千円	42,402	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.17	人	8,318	千円	1.17	人	8,223	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	1.17	人	8,318	千円	1.17	人	8,223	千円
	総事業費	45,845	千円	50,625	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		45,845	千円	50,625	千円	千円	千円			
財源合計	45,845	千円	50,625	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	カーブミラー等安全施設の維持管理は、交通安全につながる重要な事業と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	適正な維持管理、又は迅速な対応を行うため市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な道路改良を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な道路改良を目指します。			
すぐにできる改善提案	道路バトロールの実施により早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
成果	市内交通事故死亡数	人	目標値	0	達成率	0	達成率	
			実績値	3	---	3	---	7
成果	交通安全施設の修繕件数	件	目標値	120	達成率	111	達成率	
			実績値	116	96.67	111	100	100
活動	交通安全施設の修繕件数	件	目標値	120	達成率	111	達成率	
			実績値	116	96.67	111	100	100
活動	橋梁の点検件数	橋	目標値	42	達成率	120	達成率	
			実績値	43	102.38	132	110	
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

【事業の成果】



事務事業名	河川事務事業			事業コード	08030105101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	大森 史朗		
事業対象	坂井市民、関係地域住民						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。						
	磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。						
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○賃金 1,904千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯部川、片川水門管理人賃金</li> <li>・河川管理清掃人夫賃</li> </ul> </li> <li>○需用費 290千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 他</li> </ul> </li> <li>○委託料 816千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・田島川、間島川水門管理委託料</li> <li>・河川維持管理委託料</li> </ul> </li> <li>○工事請負費 5,400千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大滝川嵩上げコンクリート等工事費</li> <li>・大谷川、大滝川沈砂池浚渫工事費</li> </ul> </li> <li>○原材料費 50千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土嚢用山砂 等</li> </ul> </li> <li>○負担金 1,907千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修期成同盟会負担金 他</li> </ul> </li> <li>○補助金 2,310千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域をつなぐ河川環境づくり推進事業費補助金</li> </ul> </li> </ul>						

【事業の概要】

すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	現状より大幅なコスト削減は見込めませんが、省力化に努めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産に直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協働による河川環境の維持に取り組んでまいります。		

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	663千円	683千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	257千円	280千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	9,294千円	9,898千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	10,214千円	10,861千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.65人	4,621千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.65人	4,621千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	14,835千円	10,861千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	2,943千円	3,227千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		1,411千円	1,187千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		10,481千円	6,447千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	14,835千円	10,861千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川の適正な維持管理は、災害防止および環境美化の面からも重要なことと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国、県及び地元住民との調整も必要となるので市が実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算にて、より効果的な維持管理を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員にて、より効果的な維持管理を目指します。			
すぐに行ける改善提案	現状の体制により、サービス水準等の維持に努めてまいります。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産に直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

成果	河川に関する苦情件数	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
				目標値	0	達成率	0	達成率	6	達成率	0	達成率
活動	河川管理委託料	千円	年度	目標値	816	達成率	816	達成率	842	達成率	842	達成率
				実績値	663	81.25	683	83.7	740	87.89	772	91.69
			年度	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
			年度	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
			年度	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

【事業の成果】